

●自主防災組織とは

地域の人々が自発的に防災活動を行うことを目的に町内会単位などで作られる組織です。

ひとたび大規模な災害が発生した時には、被害の拡大を防ぐため国や県・市は全力で対応しますが、防災関係機関の対応（公助）だけでは限界があります。

「自助」「共助」「公助」の連携により「住民」「地域」「行政」がそれぞれの立場に応じた対策を講じておくことで被害の軽減を図ることができます。

住民一人ひとりが自分の身を自分で守る（自助）とともに普段から顔を合わせている地域や近隣の人々が集まって互いに協力し合いながら防災活動を組織的に取組むこと（共助）が重要ですので、防災活動等を通していざというときに備えましょう！

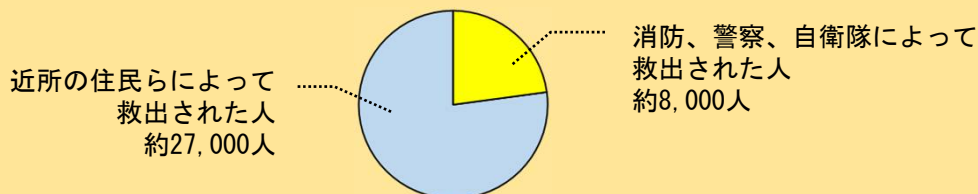
【共助の事例】

多くの犠牲者を出した平成7年1月の阪神・淡路大震災では、がれきの下から救助された人のうち約8割が家族や近所の住民によって救出されたという報告があります。（下図1参照）

東日本大震災においても、自主防災組織は、安否確認や避難所運営等で重要な役割を果たしました。普段からの近隣や地域社会とのつながり結びつきがきわめて重要であることが再認識されています。



図1 阪神・淡路大震災における市民による救助者数と消防、警察、自衛隊による救助者数の対比



出典：河田恵昭：大規模地震災害による人的被害の予測，自然災害科学，Vol.16, N.1, pp.3-14, 1997

自主防災組織に関する情報を提供しています

鹿児島市ホームページには、自主防災組織の結成や活動内容、助成制度等に関する情報を掲載しているほか、申請書もダウンロードできますのでぜひご覧ください。

鹿児島市 自主防災 共助

検索



自主防災組織の活動事例参考リンク

内閣府防災情報

総務省消防庁

鹿児島県



●問い合わせ・相談先

防災活動を計画する際は職員による専門的な知識や技術指導のほか、訓練への協力など、いろいろな支援がありますので、各機関の支援内容に応じてご相談ください。

チェック 地域安心安全推進指導員

危機管理課では、地域安心安全推進指導員による自主防災組織の結成の進め方や活動計画等の策定などの支援も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

支援内容	機関名	連絡先
自主防災組織の結成、活動計画の策定 防災活動全般、補助(助成)制度	鹿児島市危機管理課	099-216-1513
避難所運営訓練	鹿児島市地域福祉課	099-216-1244
初期消火訓練、救出・救護訓練など	鹿児島市中央消防署 鹿児島市西消防署 鹿児島市南消防署	099-285-0119 099-254-0119 099-269-0119
炊き出し訓練、救出・救護訓練など	日本赤十字社鹿児島支部	099-252-0600

自主防災組織の

防災活動を知ろう！

～ いざというときの地域の備えできていますか？ ～

どんな防災活動があるの？



自主防災組織って？



自主防災組織に関する疑問にお答えします！

相談窓口は？



活動に市からの支援はあるの？



自主防災組織に対する支援制度

ポイント! 鹿児島市では、自主防災組織の活動を支援するために防災活動や資器材整備に関する助成・補助制度を設けているほか、地域安心安全推進指導員による活動計画の策定支援なども行っておりますので、お気軽にご相談ください。



なお、下記の助成・補助制度はいずれも実施前に申請が必要となりますので、活用の際は事前に危機管理課までご連絡ください。

防災活動に関する助成金

自主防災組織が行う防災に関する活動に要する経費を助成します。

《適用条件》

自主防災組織が防災や減災に係る活動を実施する場合 ⇒ **上限2万円**（年2回※）

※1年度当たり2回まで助成を受けられますが、2回目の活動は1回目と活動内容が異なることが前提となります。

中面で 防災活動の例を紹介しています

資器材整備に関する補助金

自主防災組織が防災のための資器材を整備する場合に補助金を交付します。

《適用条件》

①自主防災組織を結成後、はじめて防災資器材を整備する場合 ⇒ **上限10万円**（1回限り）

②自主防災組織を結成後、上記の補助を受けてから5年以上経過した組織が、防災資器材を整備する場合 ⇒ **上限7万円**（1回限り）

中面で 防災資器材の例を紹介しています

防災活動の紹介

このページでは自主防災組織の防災活動の例を紹介しています。
下記に示す防災活動を参考に自主防災組織で話し合い、継続的な防災活動に取り組んでみましょう。



防災訓練

■避難訓練

避難所まで実際に歩き、下記の《例》を参考に経路や非常持出品など災害時に必要な確認を行いましょ！

《例》・非常持出袋を持参して最寄りの避難所に避難
・避難後、参加者が互いに非常持出品の中身を
確認し合い、必要な非常持出品を検討 など

■避難訓練の様子



■初期消火訓練

消火器などを使用した消火方法や火災から身を守る行動を習得しましょう！

■救出・応急救護訓練

ケガ人の手当や搬送方法、倒壊建物からの救出方法などを習得しましょう！

■救出・応急救護訓練の様子



■炊き出し訓練

非常食の紹介や試食体験、災害時の炊き出し訓練などで調理法を学び、非常時の「食」について準備を行いましょ！

防災研修会

過去の災害を教訓に本市で想定される災害や避難対策を地域の皆さんとともに学び・話し合い、防災に関する知識の地域での普及や啓発を図りましょ！

《講師の派遣例》

●鹿児島市「市政出前トーク」の活用

危機管理課職員が自主防災組織や町内会などの集まりで下記のテーマに基づく対策や本市の取組などを説明します。

「災害に備えよう！」・「桜島大規模噴火に備えよう！」

●鹿児島県「防災アドバイザー」の活用

気象・地震などの専門家や自主防災組織の活動促進に従事されている方が過去の教訓や実例紹介などを通じて防災に関する指導や助言を行います。

※いずれも事前に申請が必要ですので、詳しくは鹿児島市危機管理課までお問い合わせ下さい。

■研修会の様子(市政出前トーク)



防災点検

地域内を点検し、避難場所や危険箇所、災害時に役立つ施設のほか、避難経路などを確認しましょ！

《主な点検・確認箇所等》

- ・地域内の避難場所や崖地などの危険箇所
- ・災害発生時に役立つ病院などの施設や公園

■防災点検の様子



その他

●避難行動要支援者の支援

自分で避難することが難しい方の把握や支援方法の整理・検討

●地域の防災マップ作成

地域内の危険箇所や防災点検の情報を整理した「防災マップ」の作成と地域住民への情報共有

■防災マップ作成の様子



防災資機材の紹介

このページでは活動に必要な資機材を活動の種類ごとに紹介しています。

防災資機材を整備する際は、下記の例を参考に地域の実情に応じて検討しましょう。

※下記に示す資機材は、市の自主防災組織資機材整備事業補助金の交付対象となります。



消火活動用資機材

消火器、バケツ



避難誘導活動用資機材

ヘルメット、避難誘導用ロープ、メガホン、誘導灯、非常持出袋



救出活動用資機材

バール、油圧ジャッキ、ハンマー、チェーンソー、のこぎり、おの



情報収集伝達活動用資機材

ラジオ、掲示板（安否確認・伝言掲示用）、携帯無線機（トランシーバー）



救護活動用資機材

二連式はしご、救急セット、シート、毛布、担架、リヤカー、簡易ベッド、車椅子（けん引式車椅子補助装置）



生活維持活動用資機材

非常食(備蓄用)、飲料水(備蓄用)、炊き出し用品、テント、資機材格納庫、簡易トイレ、可搬式発電機、投光器



防災資機材の整備ランキング

令和2年度から3年度に、市の補助金を活用して整備された主な防災資機材を紹介します。

各自主防災組織で購入や更新を検討される際の参考としてください。

1	拡声器(メガホン)	15組織
2	発電機	13組織
3	ライト、ヘルメット	8組織
4	資機材格納庫	6組織